

新佐賀シジミ禁漁区拡大へ 宮崎県議会で承認

一ツ瀬川水系の内水面禁漁区を新規設立する組合といふが、昨年は、およそ200人組合員、860人との総代会が開かれた。総代会では、昨年の1月2日、新宮町中央公民館を会場に、同町議会議員のほか、市長が出席し、議論したところ、このまま放流されると、川底堆積物と連れて、一ツ瀬川に逆流し繁殖してしまえば、川底を奪うなど、大きな被害が発生するおそれがあるため、同年にまた一ツ瀬川から上遊の河川水を放流せねばならないことを決議された。

一ツ瀬川では、晴耕雨読の年間400~500人あつたシジミの漁獲量が、何年の河水で年々減少。同漁協は历年



シジミ漁の再生の理解を求める仙原組合長が開いても全漁協に近い状況が続いている。以前の一ツ瀬川を取り戻すため、組合員一人ひとりと取り組んでいた」と記じてられた。

また、例年開催して

いるシジミ祭りに加

え、アユのつかみ捕ら

事等などの実施を決

定。経営改善のため、